

令和5年10月期月次景況調査結果

この調査結果は、地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

製造業を中心に売上高が増加し、エネルギー価格高騰に対する補助等により収益が改善した業種がある一方、価格転嫁が進まず、物価高による個人消費の節約志向が伺える業種もあることから、10月期の景況DI値は僅かな改善にとどまっている。

今後も、エネルギー・原材料価格高騰は続くと思われることや、多くの業種において、受注の抑制や納期遅れが発生するなど、深刻化している人手不足が経営の足かせとなっていることから、先行き不透明感が払拭できない。







山口県の主要指標 DI 値（令和5年10月末現在）









※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況	(< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)
	前年同月比は、好転：8.8% 悪化：31.3% DI 値：▲22.5% ポイント
売上高	(< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)
	前年同月比は、増加：21.3% 減少：23.8% DI 値：▲2.5% ポイント
収益状況	(< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)
	前年同月比は、好転：15.0% 悪化：31.3% DI 値：▲16.3% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（令和5年10月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲25.0	▲50.0	▲66.7	0.0	▲66.7	▲25.0	0.0	▲34.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス業	建設業	運輸業	その他	全 非 製 造 業
20.0	▲50.0	▲20.0	9.1	▲27.3	0.0	▲100.0	▲14.6
							

全 体
▲22.5


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	インボイス制度がスタートしたが、大きな混乱はない。宇部市では、アニメに因んだお菓子が好評である。また、山口県出身の元アスリートがTV出演の際に持参したお菓子が、少しの売上げ増加を見せている。	パン・菓子製造業 山陽小野田市
	電気・ガス・ガソリンの補助金のおかげで収益の改善がみられる。雇用情勢は厳しく、欠員の補充ができない状況である。	パン・菓子製造業 下関市
	魚市場での原料魚の水揚げが凄く少なく、価格が高騰している。漁師の廃業者が続き、水産関連の人手不足が深刻である。人件費、電気料金、燃料等維持コストの上昇が続いている。	水産食料品製造業 長門市
	コロナが5類になり催事等が行われるようになって関連した商品を取り扱っている企業はそこそこ売上があった模様。円安で海外からの仕入れの値上がりが続いており、原材料や添加物なども値上げが止まらず商品の単価に影響してくる。最低賃金の引上げ額が高く、中小企業にとっては人手不足も重なって大変厳しくなっていく一方である。コロナやインフルエンザがまだ収束していない様子で、これから忙しくなっていく中、企業内で感染しないように気を付けないといけない。	水産食料品製造業 下関市
	10月は神社の祭りやお寺の行事に付随した「紅白まき餅」がとても順調に伸びた。山口県では盛んに行われているイベントであるが、本年は特別感もあり、急遽もち米の仕入れ量を増やした。11月には地区の文化祭等の注文も多く見込まれ、かなり市場が動き出したことを実感している。降水量が極端に少なく、野菜の高騰が悩みの種である。加工品の値上げも続き、小さな値上げがやがて大きな負担になることが懸念される。	食料品製造業
	コロナ感染もほぼ収まり、飲食店等も通常営業となり、売上の減少は軽微なものとなった。地球温暖化の影響により、米栽培に関しては各地で高温障害が発生し、品質及び収量が低下している。肥料、燃料など各種コストの大幅な増加により、製造原価が上昇し、事業活動がさらに苦しい状況となっている。各種生産資材の値上げが続いている中で、取引先によっては値上げをかたくなに拒否するところもあり、農業者には原価割れの状況が続いている。大型台風の襲来など地球温暖化対策については、目に見えて進めているような政策がほとんどなく、水素ステーションの構築、燃料電池の積極的な導入など、水素循環型社会の実現に向けた政策の加速化が強く求められている。日本の発電量に占める化石燃料の利用率約70%という数値も国際社会的にみても異常に高いので、早急に自然エネルギーの利用と原子力発電の利用を70%にさせるなどの改善が必要である。ロシアがウクライナに侵攻し、1年以上が経過したが、全く終息する気配も無く、原油、天然ガス等の資源不足が懸念されている。イスラエルがテロ対策でガザ地区に侵攻するなど、国際的な原油価格が上昇し、それに伴って、肥料価格が前年比150%アップという驚異的な結果となっている。	精穀・製粉業

繊維工業	10月、組合員企業の受注、収益は良好である。	外衣・シャツ製造業
木材・木製品	組合員の平均売上額は、コロナ禍の令和4年10月と比べ10%の減少。(コロナによる影響が出始めた時期は令和2年4月、令和5年3月頃には概ね収束)。米松の価格が上昇。建築工事が前年に比べ減少傾向で、木材需要も関連して減少している。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	飲食事業部が伸びたために前年同様の売上となったが、依然として印刷事業部は低迷が続く。プロセス印刷事業部を新規に設けたので、新たな販路を見出したい。	印刷業 山口市
	印刷業は全国市場規模が現在約5兆円程度であるが、大手2社において50%超のシェアがあり、残りを約2万社の中小企業で奪い合うという非常に特異な業界である。価格競争は激化し、原油相場の影響を受けやすい原材料の価格高騰による生産コストの上昇と相まって収益が確保しづらい。エンドユーザーの価値観の多様化や環境問題への配慮も求められる業種であることから、今後はM&A等による再編の動きはますます活発となっていくと予想される。市場規模が今後も縮小していくのは明白な状況下、業態変革や新しい付加価値の創造等、斬新な発想と実行力がより求められる時代となっていくと思われる。	印刷業 下関市
窯業・土石製品	10月からの最低賃金の引き上げの影響で、仕入価格、原材料、運賃のコストアップが予想されるが、販売価格に影響があるかどうか、気になっている。	コンクリート製品製造業 柳井市
	前年比40%の出荷減少。原材料、動力費の値上がりにより、令和6年1月より10%~20%の値上げを決定した。	コンクリート製品製造業 防府市
	出荷量は前月比127%、前年同月比100%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業
	最近では県外からの墓石の撤去依頼が多い。東京から日帰りの方も多く、事前見積もり(作業内容等記載)を送付し、当日細かい打ち合わせをして別日に作業する。作業途中の画像を添付し確認していただく事で、これまでに作業内容に関するトラブルはない。	石工品製造業
	10月の売上は、前年同月比で小売・卸ともにやや減少した。川崎市で行われた萩物産フェアでは、食品は売上を伸ばしたが、萩焼はやや減少した。	陶磁器・同関連 製品製造業
一般機器	10月は、例年同様各社繁忙であったが、人材不足で悩まされている企業が多く、顧客から要望のある工程に応じることが難しくなっているのが現状。新たな残業規制にも苦しめられている。	一般機械器具製造業 下松市
	産業用LPガスについて山口県の“LPガス料金上昇負担軽減事業”により令和5年9月~10月の2ヶ月間につき使用料1kg当たり10円(税抜)の値引きが実施されることになった。	一般機械器具製造業 新南陽市
	業況に大きな変化はない。発注数量は通常範囲内での減少は見られたが、概ね想定内での受注量・収益状況となっている。人手不足が解消せず、残業も簡単にできず、納期遅れが日常化している。人員確保に向けて採用にかかる費用が大きな負担となっており、収益を圧迫している。原材料費の価格は落ち着いたが、電	一般機械器具製造業 防府市

	<p>気料金がかつてないほどの値上げとなっている。</p>	
	<p>円安、ロシアのウクライナ侵攻に伴う世界情勢の不安定化によるロシア、中国とアメリカ、EU、日本との経済摩擦は先が見えない状況であり、資源高、資源不足もあり企業収益に大きな影響が出ている。中国の景気悪化に伴い、大手機械部品メーカーの発注が激減しているが、年内回復の情報もあり、関連企業も受注増の対応策に取り組んでいる。他の組合員については当面事業量を確保しており順調であるが、人材確保に苦慮している。サービス業において特に人材の確保が困難な状況である。外国人人材確保の面では、最低賃金はアップされたが、他国に比して低賃金、円安の影響は大きく、台湾、韓国との人材確保競争は厳しいものがある。国内での競合も激しく都会の高賃金に対抗できず、地方においては募集しても人が集まりにくいだけでなく、高賃金を求めて転籍も多い状況が継続している。技能実習制度見直しのたたき台が公表されたが、職種、転籍に伴う影響は大きく、企業努力だけでの人材確保は困難を極めることが想定される。中小企業のサポート体制の構築が不可欠である。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>売上が伸び悩むうえ、人材不足も重なり厳しい状況に変わりはない。</p>	
	<p>特に大きな変化はない。</p>	一般機械器具製造業 下関市
輸送機器	<p>鉄道車両関係は海外（台湾・エジプト・米国等）からの受注があり順調に推移しているが、受注量は2024年度後半以降から減少となる見通し。2026年度からは回復の兆しはある。英国の高速鉄道計画の動向について注視している。原材料費や電気料等の水道光熱費の高騰により、収益悪化が続くものと思われる。半導体製造装置の部品製造業において、当初の予定よりも大幅に受注量が減少し低位で推移。2025年稼働予定の半導体製造装置メーカー新工場建設における受注増加に期待するが、引き続き今後の動向を注視したい。</p>	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	<p>倉庫売上は前年に比し大幅に増加している。いりこが前年より倍の取れ高となり、それに伴い倉庫の入庫量が増加した。全般的に海産物の入出庫が好調である。例年10月～11月は保管料がかなり減少する時期であるが、本年は90%以上が確保できている。</p>	乾物卸売業
	<p>水揚げ状況は9月から回復傾向で、全体として数量は前年を大幅に上回り、金額も前年を上回った。11/23下関漁港で「第41回下関さかな祭」が開催される。コロナで2ヶ年中止となったが、下関商工会議所関連の実行委員会主催で、多くの人出が見込まれる。</p>	生鮮・魚介卸売業
	<p>インボイス制度がスタートし、少しずつその対応に慣れてきたように思う。</p>	各種商品卸売業 防府市
	<p>日常生活がコロナ禍前に戻りつつあり、売上が増加。商品の値上げにより納入量減少等の影響が出ている。</p>	各種商品卸売業 山口市

小売業	<p>アフターコロナの生活に消費者は徐々に慣れてきたようだが、化粧品の売上は伸びておらず、売上が微増と微減の店舗が半々の模様。各店舗において、メイクアップや眉スタイリング、ライトエステなどお客様へのタッチアップを心掛けている。韓国の方が増えてきているようだが、インバウンドの効果はあまり見られない。最近では若者を中心に、口コミやSNSで情報を得てテスターやサンプルで実際自分の肌で試してから購入する傾向も増えており、SNSやインスタグラムの更新を心掛けるのも大切な要素になる。</p>	化粧品小売業
	<p>10月は売上が低迷の模様。</p>	機械器具小売業
	<p>10月は地酒横丁等のイベントが開催され、青空公園近辺が賑わった。最近新しいイベントを行う際に保健所の許可が下りないようで、イベント関係者は苦労している。以前から行われているものはよいが、新しいイベントに関しては厳しいため、若い人たちの活動が減少してきている。一例として、「ビールをその場で注げず缶のまま提供し、その場でお客様に注いでもらう」等があるが、どうにかならないだろうか。</p>	各種商品小売業 周南市
	<p>10月の売上は、前年同月比 3.9%減少。生鮮・飲食・加工食品・土産品等全体的に売上げ規模が縮小した。食料品を中心に生活に身近な物の物価上昇が続き、消費者の節約志向、個人消費の落ち込みが伺える。依然として原材料・仕入価格が高騰しており収益確保が厳しい状況である。</p>	各種商品小売業 萩市
	<p>令和 5 年 2 月より日曜日を店休日としたことと、食糧危機に備えての大量購入が令和 4 年 10 月にあったこともあり、10月の供給高は前年同月比 84.1%、来店者数 88.8%。野菜の入荷数が制限されているため、売り場が寂しい状況。当組合生協の価格は市場が値上がりしても一定金額で値上げが無いため、購入者が増加する。</p>	各種商品小売業 下関市
商店街	<p>気温が急速に下がり、季節の変動を肌で感じることで消費行動は活性化する。物販業では新規入荷商品が増加し、購買意欲をそそる季節。飲食業も盆明けの落ち込みを取り戻して、コロナの影響に対応した効果もあり表面的には好転、サービス業は消費活動が活発になるにつれ好転している。一方で、原材料や販売資材、燃料の高騰は止まらず、値上げによる消費ブレーキも否めない。インボイス制度の導入によって事務経費・事務の手間が増加し、売上が少し伸びた程度では回復できない。露地物野菜は、夏の猛暑の影響で不作・凶作となり、材料原価高騰、仕入れ不能という厳しい状況となっている。秋以降、街や商店街の各地で祭り等のイベントが開催され、消費者のモチベーションも上がってきており、年末商戦に向けたさらなる活性化を見込みたい。</p>	岩国市
	<p>物価の高騰、人件費の上昇等、経営状態は組合員皆苦しい状況のはずだが、発言がないので実情は解らない。</p>	山口市
	<p>イベントが目白押しであったが、物販店が少なく、商店街への効果はそれ程ではなかったように思う。</p>	宇部市

	食品関連の売上は堅調のようだが、その他は厳しい模様。	萩市
	プレミアム商品券販売が 10/2 にあり、2 時間半で完売した。早速商店街にて商品券を使って買い物され、お客様からは「来年も是非実施してほしい」との要望が上がっている。22 日には時代祭りが行われ、天気も良く大賑わいだった。	下関市
サービス業	With コロナのもと、社会活動の正常化が進み、売上も伸びているが、原材料価格、エネルギー、食品の物価上昇が続き、厳しい状況である。	理容業
	中国地方における令和 5 年 9 月の新車新規登録台数は、対前年同月比 11.5%増となり、9 ヶ月連続でプラスとなり、全国計においても 12.4%増と 9 ヶ月連続でプラスとなり決算期ということもあるが回復傾向が顕著な状況。10 月から OBD（車載式故障診断装置）検査の「プレ運用」が開始となり、事業者からも導入等に向けた準備も含め質問等がある。今後本格実施に向け課題等の抽出・検討が重要な状況となる。スキャンツール導入に国は補助金を設定しているが例年同様早い段階で終了し一部の補助金は抽選による交付と言う状況にある。10 月から最低賃金が上昇し従業員の賃金等も連動して上がることが期待されるが、相変わらず電気代高騰や物価の上昇によりかき消されている感がある。整備士をはじめとするスタッフの待遇改善が図られるか不透明な部分が多い。この環境の中整備料金等を値上げするとすると、ユーザーにとっても負担増になることに変わりはない。併せて大手販売店に対する行政処分が行われ、業界に対する信頼が大きく損なわれたことは否めない。これから理解を得るための取り組みや告知、説明が今後一層重要になると思われるが、引き続き動向を注視したい。	自動車整備業
	値上げで売上高は上がったが、入会動向は良くない。ただし地域差がある。	スポーツ・健康教授業
	10 月より値上げした組合員も少なくない。日用品等の物価高から消費者の財布の紐は固くなり、売上が低迷する懸念がある。よりクリーニングの魅力を発信することに努める必要がある。	普通洗濯業
	旅行客も増えて一見のお客も増えている。連休や天候のおかげもあり湯田温泉を多くのお客様にご利用いただいている。	飲食業
	昨年は 10 月 10 日から全国旅行支援があり大きく数値が伸びたが、今年は施策も無く、前年同月比で売上 94.6%、宿泊人員 95.5%と前年割れとなった。コロナ前の平成 31 年（2019 年）10 月との比較では、売上 87.3%、宿泊人員 96%となり宿泊者数はほぼ回復したと見られる。観光客は増加したが、労働環境重視の風潮から、従業員の採用がならず、客室の稼働率が上がらない。	旅館業 山口市
	売上高は前年比 7%の減少。重油、電気等は引き続き高値圏を継続しており、収益に大きく影響している。設備等の更新、修繕費等支出の増加で年度末に向けて厳しい状況が続く。	旅館業 長門市

	<p>本年は行政からの支援がない中でも宿泊客は増加しているが、経費を客単価に上乘せることができず状況は厳しい。売上、収益とも好転と悪化の組合員が半々である。</p>	<p>旅館業 下関市</p>
建設業	<p>中電への工事申請 210 件(当支部 182 件)、前年同月 151 件(同 141 件)。太陽光発電への申請 68 件(前年 48 件)、オール電化申請 108 件 (前年 71 件)。LED 街路灯への切り替え・新設申請 11 件(前年 20 件)であった。</p>	電気工事業
	<p>今迄契約を断わることのなかった得意先の工事でも、受注を断わる専門工事業者が出始めた。技能者の大幅な減少と値上げ交渉の不調によるものと推測される。</p>	左官工事業
	<p>10 月は既に入札済みの仕事で忙しくしており、新規の入札は無かったが、民間工事の引き合いが比較的が多かった。慢性的な人手不足ではあるが、孫が仕事を手伝い始めた組合員があり、久しぶりのうれしい話題である。</p>	管工事業
	<p>インボイス制度が始まり、この時期になって丁寧な説明をと政府が言うものの、中小零細事業所は、このインボイスがきっかけで廃業の憂き目に遭うことも懸念される。円安が続き、燃料費の高止まり、輸入品の高騰が全ての物価を押し上げて、あきらめの境地に入っているようにも感じる。それに見合う賃上げをと政府が旗を振る不自然さを滑稽に感じる。土木建築関係に、改善の兆候は見られない。</p>	一般土木工事業 柳井市
	<p>10 月の受注高は、対前年同月比 114.5%。今年度の累計では、対前年比 87.4%。</p>	一般土木工事業 萩市
	<p>長門地区の公共工事の発注高については、10 月末現在、例年並みとなっている。燃料費については、燃料油価格激変緩和対策により下がったが、年度当初よりは大幅に価格が高騰している。建設資材については上昇傾向にあると思われる。</p>	一般土木工事業 長門市
運輸業	<p>各社忙しい模様。見積物件が増えてきたと話す地域もあるが、依然先行き不透明感は否めず見積りの成約率に不安を感じるとの声もある。</p>	鉄骨・鉄筋工事業
	<p>自動車関連の組合輸送取扱高は前年比若干の増加となった。部品調達については大分改善された。燃料価格は原油価格が高水準で推移しているが、補助金支給の制度が延長されたこともあり、落ち着いている。</p>	一般貨物自動車運送業 防府市
	<p>運送における荷物の動きは、先月より変化の無い印象である。輸出入に係る輸送・保管案件が少し増加している模様。倉庫保管案件は安定している。</p>	一般貨物自動車運送業 宇部市
	<p>タクシーチケットの取扱い金額(税込み)は、前年比 +34.5% (令和 5 年 9 月 1 日～令和 5 年 10 月 20 日分) だった。9 月 1 日～30 日分は +34.5%、10 月 1 日～20 日分は +34.4%。前々年度比では、それぞれ +79.5%、+105.6%、+52.4% になった。かなり回復しているように見えるが、前年、前々年がコロナ禍で大幅に減少したためであり、令和元年度 9 月分比(コロナ禍以前)では、まだ▲11.6%。当組合の取扱いタクシー事業者は、周南市、光市、下松市、防府市の地域。9 月分については、周南 +34.7%、下松 +52.7%、光 +43.3%、防府市地区が +10.8% で、組合員の全域では +32.4%、地区外(員外) +56.6%、合</p>	一般乗用旅客 自動車運送業

	<p>計+34.5% (+4,251千円) だった。主要燃料であるLPGについては、CP（通告価格）や為替によって変動する。（今月、ブタンガスからプロパンガスに変わったため、集計項目が変わった）燃料単価は前月より+8.4%上がり、前年10月比は+1.1%となった。6月から上昇し続けており、今後の動向が心配されている。マスコミでも話題になっているが、タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって、慢性的危機的に不足している。各タクシー会社とも、利用客の拡販よりも、乗務員確保に苦心している。8月1日から、県内のタクシー運賃が約10%改定になったが、運行車両数が不足しているため、運賃改定による需要減少は、あまり見られない。乗務員、稼働車両が増加して、需要供給のバランスが改善することが期待される。</p>	
	<p>10月の取扱高は対前年比増加となった。</p>	<p>港湾運送業</p>
<p>その他</p>	<p>原油や物価高騰の影響で、光熱費や食費等も値上がりしており非常に厳しい状態が続いている。加えて10月からの最低賃金引き上げにより、多くの介護事業所ではより厳しい状況となりつつある。収入と支出のバランスが取れず、廃業する事業所も出てきている。介護報酬が上がらない限り賃金の改善も難しいため、一層人材確保が厳しくなると考えられる。</p>	<p>介護事業</p>